

事務事業評価表 平成24年度

政策 安全で快適な都市生活の充実  
 施策 交通環境の充実  
 基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 **道路橋梁管理経費 (経常)**

[3025]

部名	建設部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	土木事務所	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市道  (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。
意図	(事務事業の内容、やり方、手段) 道路の損傷箇所の修繕 復旧対応  手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	市道総延長	km	827	828	830	830
対象指標2						
活動指標1	市道管理延長	km	827	828	830	830
活動指標2						
成果指標1	道路維持管理上の不具合件数	件	585	771	823	550
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	135,870	132,238	133,449	136,711
正職員人件費 (B)		千円	10,787	8,866	8,829	8,902
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>146,657</b>	<b>141,104</b>	<b>142,278</b>	<b>145,613</b>

費用内訳	
23年度	委託料 41,410千円、工事請負費 76,839千円、原材料費 15,200千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。（道路法42条）

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

安全な交通確保に貢献する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

工種によっては計画的に行っているが、緊急補修は計画的に実施できないため予算との兼ね合いもあり、危険回避の応急的な補修内容となっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

道路パトロールの強化による延命的補修の実施。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

これまで経費削減の工夫を積み重ねており、これ以上のコスト削減は難しい。